

放射線科における研修の目標, 方略(方法)及び評価

1 独自の研修目標・目的

CT, MRI, 核医学検査の撮影法と読影に必要な基本的な知識を身につける。検査を安全に行うための留意事項も習得する。
興味があれば, IVRや放射線治療の基本的な知識と実習をする。

2 放射線科研修の特徴

CT, MRIを中心とした画像診断と核医学診断を主として研修する。さらに頭部・体幹部の血管造影とIVRを指導医とともに行う。興味があれば, 東北大学放射線科とも連携して勉強する。

3 研修の目標・目的達成のための方略・方法

CT, MRIとRI検査を指導医とともに施行し, 読影報告書を作成する。
火曜と水曜日の午後は放射線治療計画を学ぶ(希望によって)。
血管造影やIVRがある場合は助手として検査を行う。

4 目標達成の評価

- (1) 当院作成の評価表に研修医評価及び経験症例数を記入し, 指導医の評価を受ける。
- (2) ローテーション終了時において指導医や看護部による総合的評価を受ける。

5 カンファランス

毎週木曜の朝脳外科と回診・カンファレンス
隔週の火曜夕方小児科と画像カンファレンス
月1回, 産婦人科・病理科、および耳鼻いんこう科とCPC
適宜, 消化器カンファレンスに参加
院外(東北大, 宮城がんセンターなど)のカンファレンスにも参加する